

——日本文化遺産を守る会について伺いたい。

「歴史的建造物の利用、または所有する宿の集まり」で、現在は国の登録文化財、地方自治体の指定重要文化財など16軒の宿で構成されている。築50年、100年以上の建造物など、歴史的、文化的遺産を一堂に会に集め、組織力をもつて個々の悩みや相談も受けている。

わわれれば、効果的な文化遺産を後世に残すという責務がある」

——文化遺産の宿の価値とは。

「温泉を利用する宿泊

「クラシック旅館」を発信、定着へ

——親会である「日本温泉文化を守る会」を、持て意味とは。

「単独では数の面でも力を発揮できない部分がある。3部会のつながり、その上に親会があることは心強く、会を持続可能なものにするためにも文化庁など官庁や自治体、関係団体への折衝など、力を借りながら共に取り組んでいきたい」

——文化遺産の宿を次

世代につなげるには。

「気になる維持、管理だが、どの建物も基本構造がしっかりとしてお

かしながら、国内外に存在をアピールしてい

年と生き続けられるもの

だ。軽微な改修は、独特な各施設の雰囲気を残しながら、今後は若い人たちがとも時代に合った改装を共に考えていきたい。

また、施設の特徴からして、インバウンドに非常に強く、ウィズコロナ、アフターコロナ期に大きな可能性を秘めている。若い人たちは、夢のある施設を生かし、大いに力を奮ってほしい」

——今後について。

「歴史あるホテルをクラシックホテルというが、当然旅館も「クラシック旅館」という言葉を使っている。利便性を追求する施設も悪くないが、例えば障子、いろりなど、昔から続く空間を楽しんでいただく。文化遺産を活用した新たな滞在様式もこの会から発信し、広めていきたい」

——読者に一言。

「歴史ある建物には独特な雰囲気があり、それらは皆さんの中に入り感じられるもの。われわれは、その部分を大事にしたい。歴史遺産、文化遺産が一堂に集まる部会であり、皆さんも会の宿を訪れ、皆に思いをはせてほしい」

「歴史ある建物には独特な雰囲気があり、それらは皆さんの中に入り感じられるもの。われわれは、その部分を大事にしたい。歴史遺産、文化遺産が一堂に集まる部会であり、皆さんも会の宿を訪れ、皆に思いをはせてほしい」